

第4号

年1回発行

平成25年3月11日

協会だより



新消防本部庁舎 鳥瞰予想図

児玉郡市防火安全協会

事務局 本庄市児玉町蛭川915-1
児玉郡市広域消防本部 予防課内
TEL 0495-72-4654 FAX 0495-72-7631
Eメール boukakyoukai@kodamakouiki.jp
発行 児玉郡市防火安全協会

ご挨拶



児玉郡市防火安全協会

会長 田島 英治

会員皆様には平成25年の新春をお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素は当児玉郡市防火安全協会へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。東日本大震災より早くも2年をむかえて復興とともに、防災又防火への意識と取組が高まっております。

近年毎年のように様々な自然災害が発生し、国内外を問わず、各地に大きな被害をもたらしています。又危険物施設からの事故による被害も頻発している中、危険物に係る安全確保対策の重要性を改めて痛感しております。

この1月31日を境に地下タンク経年施設については、新規埋設、内部FRPコーティング又は電気防食等の措置が義務付けられる事になりました。

これも危険物施設からの事故防止に基づく規制であります。厳しい業界の現況において負担増はいなめないものであります。

埼玉県における危険物事故の発生状況は、一昨年は42件と近年では突出して多かった年であり昨年では28件と減少したとの事であります。

児玉郡市管内においては、危険物に係る事故は無かったわけではありますが、引続いて事故ゼロのために、注意喚起に徹して頂きたいと存じます。

事故の原因としては、操作確認の不十分など人的要因によるものが多いという事であります。

法定保安講習を定期的に受講され、日頃の慣れで忘れがちな初動確認を初心に帰って実行される様をお願いします。

いずれにいたしても危険物の火災、爆発や漏えい等の事故が発生しますと、多くの生命、財産を奪うばかりでなく、周辺地域の環境汚染などの悪影響を及ぼすことは言うまでもありません。そのため危険物施設の安全管理体制は極めて重要であり、積極的に取組んで行くことが必要です。

この様な中、当児玉郡市防火安全協会は広域消防本部又関係機関のご指導の元、第一に危険物に関する施設の安全思想の普及と啓発に関する事業。第二に危険物施設の安全管理の研究調査に関する事業。第三に危険物取扱者の法定保安講習に対する支援・協力に関する事業の継続。第四に危険物事故防止対策又火災予防対策のための広域消防本部への支援事業等々の推進をしてまいります。

この様に危険物の安全対策と事業所の火災予防対策を推進する組織として消防行政の中で一定の役割を与えられた団体として全力を傾注して参ります。

本年も会員皆様と共に力を合わせて地域の安心安全にご協力を頂きますようお願い申し上げます。



児玉郡市広域消防本部

消防長 金井 眞澄

児玉郡市防火安全協会会員の皆様には、日頃より事業所の自主防災はもとより、消防行政に深いご理解とご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

さて当消防本部管内では、昨年火災件数は58件で一昨年より5件減、救急件数では5,735件で23件増となっているところです。

一方全国では昨年4月当消防本部に隣接する藤岡市関越高速でのツアーバスが防音壁に衝突した交通事故、5月に広島県福山市のホテル火災、10月に兵庫県姫路市の工場爆発火災、12月の大月市笹子トンネル天井板落下事故、そして今年2月には長崎市の認知症高齢者グループホームの火災と多数の犠牲者が出る事故や火災が発生しております。当消防本部は職員の大量退職期がさらに進み、戦力低下を防ぐため、若手職員の技術力向上に向けての活動訓練、各種の研修や教養などを実施、公務員としてだけでなく、社会人として必要不可欠な人材育成を図り、さらなる活力ある消防組織を目指しているところでございます。25年は引き続き、新消防庁舎の建設事業、消防救急無線のデジタル化事業をはじめ住宅用火災警報器の設置促進、事業所に対する査察業務の充実や救命率向上に向けての救命講習など、また近年発生が予想される南関東直下型地震などの自然災害に対処すべく取り組んでおります。地域皆様に日々安全で安心して暮らしていただけるようより一層消防力の充実に取り組んで参ります。

会員の皆様には当消防本部に対しまして相変わりませんようご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

結びに、会員の皆様のご健康、並びに児玉郡市防火安全協会がますますご発展されますよう心から祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

防火安全協会が協賛した事業

第26回自衛消防隊屋内消火栓操法大会

10月15日、本庄市児玉総合文化会館（セルデイ）において、児玉郡市広域消防本部主催、児玉郡市防火安全協会協賛による第26回自衛消防隊屋内消火栓操法大会が盛大に開催されました。参加チームは全13事業所から男子15チームと女子3チームが参加し、各事業所の代表として気迫あふれる活動を見せられました。



次回も是非！
事業所の安心・安全の代表
として参加をお待ちして
おります。

成 績

男子の部

- 優 勝 株式会社日立ハイテクノロジーズ A
- 準優勝 美里町役場
- 第3位 朝日工業株式会社埼玉事業所

女子の部

- 優 勝 埼玉グランドホテル本庄
- 準優勝 さいたまセレモニーホール本庄
- 第3位 本庄市役所

防火管理講習

平成24年7月25・26日及び平成25年2月6・7日、甲種防火管理講習会を早稲田リサーチパークコミュニケーションセンターにおいて開催いたしました。

なお平成25年度も2回実施予定です。実施日等は、市町広報誌または消防本部ホームページに掲載されます。



防火ポスター展

管内小学4・5・6年生を対象に、火災予防ポスターを募集したところ、21の小学校が参加し、3100点の応募をいただき227点が入選されました。入選作品は、平成25年春季全国火災予防運動に合わせ、「ユニクス上里」様に展示されました。



金賞
本庄市立本庄南小学校
四年二組
玉江心太郎くん



金賞
上里町立上里東小学校
五年四組
伊藤美樹さん



金賞
上里町立長幡小学校
六年一組
中久木舞流さん



特別賞
上里町立賀美小学校
四年二組
島田龍征くん



特別賞
本庄市立本庄東小学校
五年一組
大須賀 礼さん



特別賞
上里町立長幡小学校
六年一組
森 雪乃さん



表彰式に出席した受賞者の皆さん



ポスター展での来客者の様子 (ユニクス上里)

< 改 革 >

沖電気工業株式会社 本庄工場

児玉郡市防火安全協会会員の皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。沖電気工業は日本初の通信機器メーカーとして誕生して以来、「進取の精神」をもって情報社会の発展に貢献する商品の開発・提供を通し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献することを目指し、事業を展開しております。本庄工場では通信機器及び、受託製品の製造（多品種少量生産で極めて高い品質を要求される EMS 事業）を展開し、工場創業 51 年目を迎えました。

この間、防火安全協会の活動に積極的に参加し、危険物管理会社として、環境にやさしい社会の実現のため【安全・安心・環境にやさしい】企業活動を展開してありましたところ、平成 22 年に児玉郡市広域消防本部より【消防庁長官賞】の推薦をして頂き、受賞に至っております。

弊社では、社内規定に基づき防災管理体制として【防火・防災管理規定】を設定しています。①「防災管理委員会の設置」については、委員長（管理権原者）含め 15 名で構成されており、年 2 回の定例会を開催。又、防災パトロール等を実施。②「災害発生時の体制構築」については、緊急対策本部組織の構成及び、役割と責任・権原、連絡体制、初動体制を制定。③「災害予防管理」については、防火・防災管理者の傘下に予防活動組織を編成し、建物・付帯設備等点検・消防設備等点検を行い常時使用可能状態に維持。④「防災訓練」については、総合避難訓練計画・部門別防災訓練計画及び実施。⑤「消防関連各署との連携」については、防火・防災管理者は常に消防機関と連絡を密にし、より防火管理の適正を期する。⑥「時間外の緊急事態発生時の対応」については、就業時間外で緊急事態が発生した場合は、人命、及び物的被害を最小限に抑えるための初期消火要員の育成。等の規定に基づき活動を行っています。

災害発生時の対策としましては、1995 年の阪神淡路大震災の発生を教訓とし、95 年から災害備蓄品として、救出用道具・炊事用具（プロパンガスボンベ、他）・本部用大型テント、帰宅困難者用として防災備蓄食品（保存水・山菜おこわ等を全従業員の 1 / 3 名分かつ 3 日間分）の準備を行っております。これからも、従業員の安全を第一に防火・防災活動に取り組み、活動してまいりますので、今後ともご指導宜しくお願い致します。



2012 年総合避難訓練



はしご車による屋上からの避難訓練



防災備品倉庫

消防本部からのお知らせ ホームページ <http://www.kodamakouiki.jp>

火災・救急件数

【本庄市・美里町・神川町・上里町】

火災種別	建物	林野	車両	その他 ※1	合計	死傷 者数
平成24年	39	2	4	13	58	13
平成23年	33	3	5	22	63	17

※1 その他とは、建物、林野、車両火災以外の火災件数です。

救急種別	急病	交通	一般 負傷	その他 ※2	合計	搬送 人員
平成24年	3,468	791	715	761	5,735	5,739
平成23年	3,489	714	699	810	5,712	5,385

※2 その他とは、火災、自然災害、水難、加害、自損、転院搬送等の件数です。

主な出火原因

1	放火・放火の疑い
2	コンロ
3	たばこ

★火の用心 7つのポイント★

- ・ 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ・ 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
- ・ 風の強いときは、たき火をしない。
- ・ 天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない。
- ・ 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ・ 電気器具は正しく使い、たこ足配線をしない。
- ・ ストープの近くには、燃えやすいものを置かない。

平成24年度全国統一防火標語

消すまでは 出ない行かない 離れない

防火安全協会の行事

総会

5月25日(金)、埼玉グランドホテル本庄において、平成24年度の定例総会を開催し、会員79名出席で全議案とも原案どおり可決承認され、終了しました。

I. (財団) 全国危険物安全協会連合会表彰



危険物安全大会にて
受賞された田島会長



総会の様子

II. (公社) 埼玉県危険物安全協会連合会表彰

・優良危険物事業所表彰

築野食品工業株式会社関東工場 様
有限会社いりプロパン 様
大興運輸株式会社関東支店 様

・優良危険物取扱者表彰

株式会社サイセキ
田沼 一徳 様

有限会社立川商事
立川 悟 様

・優良普及啓発活動表彰

山下ゴム株式会社埼玉工場 様

相川石油
相川 政實 様

神鳳興業株式会社
島田 喜一 様

III. 児玉郡市防火安全協会表彰

・優良危険物事業所

中央化学産業株式会社本庄事業所 様
ニッカ株式会社 様
トーワパック株式会社 様
エス・ティー・サービス株式会社 様
国際油化株式会社アクシス本庄給油所 様

・優良事業所

曙機械工業株式会社本庄工場 様
株式会社デリフレッシュフーズ 様
日本梱包運輸倉庫株式会社児玉営業所 様
老人保健施設かみかわ 様
社会福祉法人柏樹会シャローム 様



表彰伝達式



消防行政への助成



全国消防救助技術大会出場の埼玉県代表の児玉郡市広域消防本部上田隊員(後列左3人目)

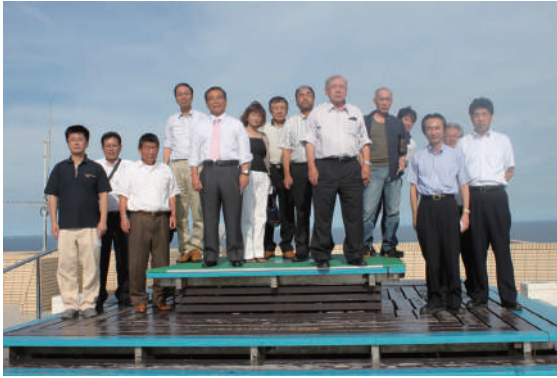


児玉郡市広域消防本部本部消防職員意見発表会

県 外 研 修 会

9 月 13・14 日の 2 日間、県外研修を開催しました。

千葉県船橋市の国土交通省関東地方整備局船橋防災センターを視察、成田山新勝寺を参拝し協会の安全・安心そして皆様のご健勝を祈願し、地球の丸く見える丘展望台を見学し、千葉県犬吠埼温泉に宿泊しました。2 日目は東京消防庁本所防災館を視察し参加者全員でカップパに着替えて暴風雨体験をしました。二日間天気にも恵まれ、県外研修が無事に終了しました。



地球が丸く見える丘展望台



本所防災館での暴風雨体験で
参加者がカップパに着替中

親 善 ゴ ル フ 大 会



10 月 25 日、北武蔵カントリー倶楽部さんにおいて、親善ゴルフ大会が開催されました。

総勢 20 名の参加で、ゴルフを通じ会員様の交流を深めていただきました。

また、開催にあたり多数の会員様より賞品を協賛していただき、大変ありがとうございました。

結 果

優 勝	森下 雄吉 様	築野食品工業(株)
準優勝	中野 征行 様	(有)中野家
3 位	鈴木 隆幸 様	(株)鈴徳児玉営業所
4 位	久保田 優 様	竹並建設株式会社
5 位	黒沢 文雄 様	スゴー運送株式会社



顧問：吉田本庄市長のご祝辞

平 成 2 5 年 賀 詞 交 歓 会

2 月 1 日(金)、埼玉グランドホテル本庄において、顧問の吉田本庄市長のご臨席を賜り、会員 69 名の参加で、平成 25 年賀詞交歓会が開催されました。事業所間の交流と親睦を深め、新しい年の始まりにふさわしいお祝いができました。

新会員の紹介

次の事業所が新たに会員となりましたのでよろしくお願いいたします。



(株)オリケイ本庄加工センター 様
本庄市児玉町児玉1189番地

2012年9月に深谷市から移転してまいりました。

冷菓資材を製造・販売する会社です。
全従業員で防災活動に取り組んで参ります。



シルバーホームむさし 様
美里町小茂田693番地

サービス付き高齢者向け住宅と通所介護施設を併設し平成23年9月に開設致しました。定員30名の居宅サービスと同人数のデイサービスを運営しております。介護を要する方なら入居が可能です。明るくにぎやかに毎日デイサービスで利用者の皆さんが過ごされています。職員も笑顔を決やさずより良い介護サービスを提供すべく日々努力を重ねています。

新規会員を募集しています。入会事業所のご紹介を!

住宅用火災警報器設置促進のぼり旗作成

児玉郡市の住宅用火災警報器の設置率は64.2%であり、全国平均の77.5%を大きく下回っているため、設置促進の一役にと、助成事業として、のぼり旗を昨年と同様に作成しました。住宅防火対策で最も大切な事は、「自らの身は自ら守る!」という意識で、火災から大切な財産や愛する人の命を守るため、しっかりと準備をしておきましょう。



◆◆◆◆◆ご寄稿◆◆◆◆◆

親しんでいただける「協会だより」を発行させていただくために、身近な皆様の生の声を募集しております。また、今回事務局よりお願いして執筆いただいた沖電気工業(株)本庄工場様のように、事業所での取組み等も紹介させていただきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしております。

****宛て先事務局****

Eメール: boukakyukai@kodamakouiki.jp

編集後記

今号の表紙についてですが、平成26年度に児玉郡市広域消防本部、本部本庁舎の完成予定の新庁舎です。

本年も「協会だより」第4号を発行する運びとなりました。

発行に際しまして、ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。今後とも、当協会の皆様をはじめ、多くの方々に対して、防災・防火等の情報発信として「協会だより」の発行を目指していきます。

題字・田島英治会長